

# 日本国憲法の間接的起草者の 肖像と理想

—鈴木安蔵先生の生誕120年を記念して—

講師 金子勝 先生 (立正大学名誉教授)

5月25日(土) 14時30分～(開場14時)

会場:横浜市開港記念会館 2階 7号室 横浜市中区本町1丁目6番地

みなとみらい線「日本大通り駅」①番出口から徒歩1分

資料代700円 定員48名

オプションツアー

ニュースパーク(日本新聞博物館)見学

集合:13時「日本大通り駅」地下改札口前 入場料400円

日本国憲法草案作成に多大な影響を与えた憲法学者の鈴木安蔵先生、その門下生である金子勝先生は、鈴木安蔵氏がなければ「憲法草案要綱」は生まれなかったとおっしゃっています。鈴木先生とのかかわりをはじめ、国民を幸福にする本当の憲法とはについて、ご講義をいただきます。今回は初めての横浜での開催、5月は憲法施行の月、一緒に学びましょう。

オプションツアーでは、新聞発祥の地である横浜の日本新聞博物館を見学します。(希望者)

主催 婦人民主クラブ 渋谷区千駄ヶ谷3-2-8-第12-303 お問い合わせ 03-3478-2317

## 憲法教室特別授業参加申込書

氏名		
連絡先	電話番号	
	メール	
オプションツアー(ニュースパーク)に参加する場合は○		

申込先      ファックス    03-3478-2318  
                 メール            fumin-club@nifty.com

## 鈴木安藏先生

1904年、福島県小高町(現南相馬市)で生まれました。京都帝国大学に入学しますが、治安維持法で逮捕され、大学を自主退学、在野の憲法研究者となりました。

第二次世界大戦後、民間の7人で構成された「憲法研究会」の中心として「憲法草案要綱」を作成し1945年12月に公表します。それがGHQに「著しく自由主義的」と評価され、現在の日本国憲法に影響を与えました。その意味で鈴木安藏氏は「日本国憲法の間接的起草者」とよばれています。

## 横浜市開港記念会館

1917年7月に横浜開港50周年を記念し、市民の寄付金により開館。1923年の関東大震災により時計塔と壁体だけを残し、内部は焼失し、屋根ドーム群も欠落しました。1927年に震災復旧工事が竣工しましたが、屋根ドーム群は復元されませんでした。

開館以来、横浜の代表的建造物の一つとして多くの市民に親しまれ、1989年には国の重要文化財に指定されました。

シンボルである時計塔は高さ約36m、「ジャックの塔」の愛称で親しまれ、神奈川県庁(キング)・横浜税関(クイーン)と共に、横浜三塔を形成しています。三塔を一望できるスポットを巡ると願いが叶う、という言い伝えもあるそうです。

## ニュースパーク(日本新聞博物館)

日刊新聞発祥の地・横浜で、日本新聞協会が運営する情報と新聞の博物館です。デジタル化の急速な進展により大量の情報があふれる今、私たちには、情報を見極める力が求められています。その中で、新聞は長い歴史を通じて、確かな情報を届けるために日々努力を重ねてきました。当館の展示から、情報社会と新聞・ジャーナリズムの役割について、考えましょう。

